

小豆畑病院薬剤師卒後研修プログラム概要版

所在地： 茨城県那珂市菅谷 605

名 称： 医療法人社団 青燈会小豆畑病院



1 プログラムの目的と特色

地域医療のスペシャリストとして、医療機関や地域医療の現場で、薬学の視点を「チーム医療」に反映するための臨床能力を養成するために、経験と知識を得て、日病薬病院薬学認定薬剤師を取得し、地域における多職種連携に加わり、地域医療に貢献できる薬剤師を育成する。

2 就労環境

1、病院の宿舍	あり（月額自己負担なし）
2、薬剤師賠償保険	病院において加入する
3、研究会等への参加	可（交通費支給あり）
4、病院で指導薬剤師が取得しているまたは取得見込み専門・認定薬剤師の資格 ※今後取得見込み	日病薬病院薬学認定薬剤師（0名） NST 専門療法士（0名）
5、取得可能専門・認定薬剤師	日病薬病院薬学認定薬剤師 NST 専門療法士
6. 協力病院 ※過去実績、派遣予定に基づいて記載	NST 専門療法士：日立総合病院

3 プログラムの企画立案及び実施責任者： 小豆畑病院薬剤科責任者

4 指導体制

プログラムが円滑に実施されるように、指導薬剤師（日病薬病院薬学認定薬剤師・研修認定薬剤師勤務歴複数年）が指導の上、研修者の研修到達度を評価する。

5 プログラムの計画

1 年目	基本的な調剤業務、DI 業務、医薬品の供給・管理業務、医薬品情報管理業務を行う。
2 年目	病院業務の必須になる無菌調剤、病棟業務を行う。 TDM シミュレーションの必要性、意義を学ぶ。 在宅医療の必要性を理解し、安心、安全な医療を学ぶ。 他職種との連携を図り、情報共有等の必要性を学ぶ。
3 年目	日病薬病院薬学認定薬剤師認定を取得する。 NST を中心として、チーム医療に携わり、薬剤師の角度からアプローチすることを学ぶ。

4年目～ 9年目	これまでの薬剤師としての経験、知識を活かし、地域における多職種連携に積極的に参加し、地域医療を支える薬剤師になる。(地域活動への参加など) また、NST 専門療法士を取得し、静脈栄養・経腸栄養を用いた臨床栄養学に関する優れた知識と技能を他の職種と共有する。
-------------	--